

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【公表番号】特表2019-502130(P2019-502130A)

【公表日】平成31年1月24日(2019.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-003

【出願番号】特願2018-537496(P2018-537496)

【国際特許分類】

G 01 F 1/84 (2006.01)

【F I】

G 01 F 1/84

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- コリオリチューブ(3)と、  
- 前記チューブを、励起軸(29)の周りで振動させるための励起手段(9、9'、10)と、  
- 使用中に、少なくとも前記コリオリチューブ(3)の一部の運動の量の測定値を検出する検出手段(112、112')とを備え、

前記コリオリチューブは、前記励起軸(29)を横断して延びる測定チューブ部分(124、124')を備え、

前記検出手段は、2つの検出要素(112、112')を備え、

前記2つの検出要素(112、112')は、前記測定チューブ部分(124)のそれぞれ反対側面上に配置され、

前記2つの検出要素(112、112')は、一部が励起軸(29)にオーバラップしており、

励起軸(29)と平行な方向に見たとき、前記2つの検出要素(112、112')は、互いにそれぞれの後方に配置され、それぞれの一部同士がオーバラップし、

前記2つの検出要素(112、112')の少なくとも1つは、励起軸(29)に関して非対称に配置される、

コリオリ流量計。

【請求項2】

前記コリオリチューブ(3)は実質的にU字型である、  
請求項1に記載のコリオリ流量計。

【請求項3】

前記2つの検出要素(112、112')の各々は、励起軸(29)に関して非対称に配置される、

請求項1または2に記載のコリオリ流量計。

【請求項4】

前記検出要素は、読み出し要素(111、113；111'、113')である、  
請求項1から3のいずれか一項に記載のコリオリ流量計。

【請求項5】

マイクロマシンによるコリオリ流量計であることを特徴とする請求項 1 に記載のコリオリ流量計。